

「ATC 親と子どものおもちゃ教室の報告」

イベント責任者 新鞍 清彦

niikura@siren.ocn.ne.jp

大阪府SA連協傘下団体の会員の皆様が、ATCで行われた「親と子どものおもちゃ教室」に参加頂き、多くの子ども達への作品作りにご協力頂きました。(3日間で約750個の作品作成)

当日は、あいにく天候もすぐれなかったのですが、朝早くから待ちかねたように、子ども達がイベントに参加してくれ、大きな歓声が飛び交っていました。特に午後は多くの来場者に恵まれ、会員の方々の日ごろ鍛えた腕を披露して、熱心に親と子どもと一緒におもちゃ作りに熱中して頂きました。又、突然のハプニングで近所の方が訪問され、「ゴム鉄砲とサザエさん人形及びキーホルダー」と会員の方から立派な「しおり」受取りました。子ども達に渡すと一様に吃驚して大喜びでした。

さて、今回のイベントは下記した大阪府SA連協傘下団体が協力して実現出来ました。

- 11月1日担当は大阪府SA連協の中ブロックの会員が参加
- 11月2日担当は大阪府SA連協の北ブロック・南ブロックの会員が参加
- 11月3日担当は大阪市SA連協の会員が参加

おもちゃの種類としては、3日間①バルーンとピエロ ②紙ヒコーキ ③ぶんぶんゴマ ④オームの折り紙 ⑤跳ねカエル ⑥鳴きカエル ⑦風車他 等の各ブースで子ども達とおもちゃの作りを楽しみました。

ATC側が住之江区の小学校校長会にイベント説明し、機関紙やATCのビル各所にポスターを貼って頂いた事はもとよりですが、ATCの2階通路にイベント見学に多くの方が往来されてます、皆様が何処に行こうかと迷っている親子ずれに、SA連協の会員がおもちゃのサンプルを見せ、チラシを見せ、11階のおもちゃ教室に声かけ誘導し、受付の前で子ども達が待っている間、動くおもちゃの実演し、おもちゃの種類を決め、チケットを買い、おもちゃブースに行き、おもちゃ作りを親と子どもと一緒におもちゃを作る事が今回の目的でした。教えている会員の皆様が、子どもに接しておられる様子見ていると、日頃方々でボランティア活動をしている会員たちの手なれた教え方に興味と今回の催しも大阪府SA連協傘下の会員の団結力を感じたイベントでした。3日間で参加して頂いた延約90人の方々にこの紙面をお借りして、ご協力に感謝を申し上げます、有難うございました。

「親と子どものおもちゃ教室」風景

